

南九十九里浜侵食対策の進捗に伴って 砂浜が回復し「海水浴客のにぎわう浜」へ

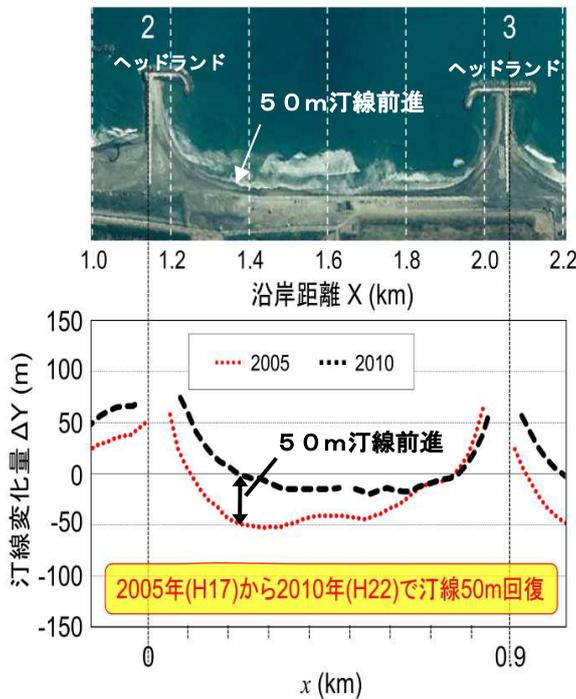


- S 40年代半ば以降、汀線が20～70m後退
- S 58年度から侵食対策事業として、ヘッドランド・養浜工を実施
- 一宮海岸では、砂浜が最大50m回復し、防護機能の回復と併せて、海水浴客数は、震災以前より約1.5倍に増加！



ヘッドランド・養浜工を実施

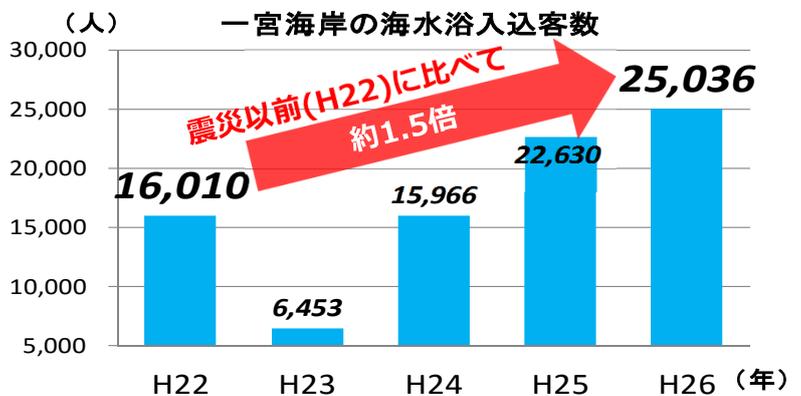
事業効果で汀線が前進、砂浜が回復



砂浜回復



砂浜の回復にあわせ、海水浴入込客数が増加傾向



南九十九里浜の侵食対策事業

【事業名】侵食対策事業

【事業期間】S58～現在事業中

【整備目標】砂浜幅40mの回復

【整備計画】ヘッドランド10基、養浜工、離岸堤、小突堤